

平成 28 年度 第 1 回 鳥取県中部地域公共交通協議会について(報告)

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 1 日 (月) 15 時 00 分～15 時 30 分
2 場 所 倉吉市役所 大会議室 (本庁舎 3 階)
3 出席者 委員 19 名中 16 名
4 内 容 ①平成 27 年度事業報告及び決算報告について承認いただきました。
②鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱の一部改正について承認いただきました。
5 資 料 別紙のとおり
6 協議内容 以下のとおり

1. 開会

(事務局)

委員 19 名に対して 16 名の出席。鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱第 5 条第 3 項の規定による開催要件の過半数を満たしていることを報告。

鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱第 5 条第 7 項の規定により、原則公開となっていることを説明。また、委員選出後初めての協議会開催であるため、新たに委員となった方を紹介。

2. 会長あいさつ

(石田会長)

大変暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。

この鳥取県中部地域公共交通協議会、その設置の趣旨は新任の委員がいらっしゃる関係で後程説明をする、端的に申し上げれば、非常に重要な公共交通の問題を広域的に、1 市 4 町にまたがって協議をする場として設置をしています。

公共交通の問題は重要な問題ではあるが、解決が難しい問題でもあります。1 歩でも前に進むことができるようにこの場を通じて協議を進めていけたらと思うので支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

3. 本協議会の趣旨説明

(事務局)

本協議会の趣旨説明。

中部地域の 1 市 4 町では平成 21 年度から定住自立圏構想の圏域として倉吉市を中心市としまして圏域住民の生活に関わる様々な協定項目について協議を進めてきた。その中で「公共交通のネットワークの確立」につきましても協議を行ってきたところ。各市町においては、昨今のバス利用者の減少、それに伴う収入の減少等によるバス補助金の増額等、公共交通を維持していくための環境は年々厳しくなっているという共通の課題が浮き彫りとなりました。また、中部地域の公共交通、特に広域バス路線につきましては倉吉市を中心として周辺町へ放射状に路線が設定されており、これまでもバスの運行に関する見直しは、経路区間の廃止、減便等での対応しかできていない状況であった。また、各市町では、市内・町内を単独運行、乗合タクシー、コミュニティーバスで住民の移動手段を確保してきているが、住民ニーズの多様化、利用者の減少により運行に係る見直しを余儀なくされている状況となっている。

そこで、本協議会では平成 27 年度に「第 2 期鳥取県中部地域公共交通総合連携計画」を策定し、今年度からは第 2 期計画の実施に係る連絡調整、位置付けられた事業の実施を協議してきているところ。本

日は、「第2期総合連携計画」の進捗についてご報告するので、委員皆様のそれぞれの立場からご意見をいただきたい。

本協議会の趣旨説明につきましては、以上です。

4. 協議事項について

(1) 平成27年度事業報告及び決算報告について

(事務局説明)

資料1について説明。

《監査報告》

監査委員を代表し、倉吉駅 尾崎委員が資料「監査報告」のとおり報告。

《質疑応答》

意見なし、承認

(2) 鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱の一部改正について

(事務局説明)

資料2について説明。

《質疑応答》

意見なし、承認

5. 報告事項について

(1) 副会長、監査委員の指名について

(事務局説明)

資料3について説明。

《質疑応答》

意見なし

(2) 各種事業の進捗状況について

(事務局説明)

資料4について説明。

《質疑応答》

(北栄町)

2点教えていただきたい。まず、資料10ページでJRとバスダイヤの検証及び改善とあるが、評価指標にある、乗継問題便数/駅接続便数の現在の数値を教えていただきたいということと、それを踏まえて、おそらく10月ごろとみられる次回のダイヤ改正にむけてどのような調整をしようとしているかということを知りたい。もう1点は乗降調査が今年度の主な事業だと思うが、10月ごろに予定されている中間報告にはどのような資料が出てくる予定なのかを教えていただきたい。

(事務局)

実際の数値についてはこれから検証する。10月の中間報告については実際の分析結果等が出てくるのでそれに基づき事業者に見直し案を作成していただき、内容について確認させていただく。見直し案については具体的なものはまだ出てきていない。今回の内容が、OD調査という実際に乗って降りた場所の結果を反映させたうえでの見直し。各路線の分析、カルテといったものを受けての見直し案を10月に報告する。

(北栄町)

今の回答だと、現段階で現状把握ができていないということは JR のバスダイヤの検証は 10 月のダイヤ改正には間に合わない。計画には検証とあるが、実際には検証ができていない。実質的には来年 3 月ないしは 4 月のダイヤ改正に向けて具体的な作業をするというイメージで考えておく。

(事務局)

具体的な数値については早急に把握し、3 月にご報告させていただきたい。

6. その他

特になし

7. 終了